（様式１）

令和８年度 学力向上全体計画

学校名	墨田区立第一寺島小学校
校長名	髙橋　誠人

１　本校の学力に関する状況

（１）墨田区学習状況調査結果から

成　　果	課　　題
【学校全体的な傾向】 ・学年ごとの学力差は多少見られるものの、学校全体としてみると、ほとんどの教科・観点で全国の平均を上回っている。 【観点別の傾向】 ・知識・技能と思考・判断・表現を比べると、思考・判断・表現の方が高い数値を示している。 【学年別の傾向】 ・全学年を通して学力差はあるものの、概ね安定して全国の平均より高い傾向にある。 【教科別の傾向】 ・国語、算数で全国の平均より高い傾向にある。特に国語では、全ての学年の全ての学年・観点で全国の平均を上回る数値となっている。	【学校全体的な傾向】 ・全学年で、ほぼ全ての学年・教科・観点において全国平均を上回っている。一部平均を下回るところがあるので、重点を決めて授業を行うことが課題である。 【観点別の傾向】 ・学校全体として観点別に調査結果を見た限り、特に低い数値は見られない。 ・知識・技能について、単なる詰め込みによる獲得ではなく、生きて働く知識・技能にする必要がある。 【学年別の傾向】 ・校内で比較をすると、第４学年の学力が若干低い傾向にある。 【教科別の傾向】 ・調査を行った５教科の中では、校内で比較すると社会・理科が低い傾向にある。・ ・

（２）意識調査結果から

成　　果	課　　題
・全体的に見ると、全国の平均を上回っている項目が多い。 ・標準スコアが高い学級は、部分的に高いわけではなく、集団として全体的に高い傾向がある。	・学級によって大きく差が開いている結果となったが、高学年になるほど、肯定的な数値が低くなっている傾向がある。

（３）墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成　　果	課　　題
【全国学力・学習状況調査より】 ・国語・算数とも全国の平均正答率を１０ポイント以上、上回る結果となった。 ・知識・技能を問う設問よりも、思考・判断・表現を問う設問の方が正答率は高い。 ・問題形式別では、選択式・短答式の回答方法より、記述式の回答方法の方が正答率は高い。	・令和９年の全国学力・学習状況調査の CBT 化に伴い、端末の中で情報と情報を比較したり、考えを再構成したりする思考過程に慣れる必要がある。 ・MEXCBT の問題に慣れ、ICT リテラシーを獲得する必要がある。

２　本年度の学力向上に関する主な取組

（１）校内研究を軸とした授業改善

令和６・７・８年度、本校の研究主題は、「学びを深める児童の育成」であり、副主題として「～自分の思いや考えを伝え合う活動の充実を通して～」と一貫して研究を進めてきた。研究教科は国語科とし、１年生から６年生まで各学年で研究授業を１本ずつ行い、全体での授業検討会の機会を設けた。また、確かな学力の向上に向けて、当該単元ではどの指導事項を育成することが目的となっているのかを確認し、その手立てとしての言語活動が有効だったのかを検討する。また、言語活動モデルや話し合いのモデルを教師が作成することで、学習指導要領に示されている資質・能力を具現化する手立てとする。１２月には研究発表を行い、本校の実践を発信し、参観者に評価してもらう機会をつくる。

（２）人事考課制度を活用した自己申告時の授業

授業力向上のため、管理職による直接の指導を効果的に行うために、年間３回の自己申告時の授業を以下のように位置付けた。

	時期	教科	授業観察の視点
当初申告	５月・６月	算数	・課題解決的な学習（問題把握、めあての設定、解決の見通し、自力解決、交流、一般化、適用問題） ・指導法の共有（学年間、学級間） 学習の流れ、掲示物、評価の仕方、年間計画等
中間申告	９月・１０月	体育	・授業の展開方法（準備運動、場づくり、説明、全体、個別学習等） ・けがの未然防止等、安全面の確保のための取組
最終申告	通年	専門教科	・主体的で対話的で深い学びを視点とする授業改善 ・個別最適な学びと協働的な学びの一体化の実現

（３）学校全体の学力向上に向けての組織的な取組

児童の学力向上に向けて、学校全体として以下の点に取り組む。

・読書習慣の形成（週３回の朝読書、プチ図書館、図書委員の活動等）
・年２回、家庭学習パワーアップ習慣の充実
・よむよむワークシート、ふりかえりシート等の利活用

３　「令和９年度 墨田区学習状況調査」の目標

・授業改善の視点を、個別最適な学びと協働的な学びの一体化の実現と位置付け、日々の授業改善により、国語科と算数科の墨田区学習状況調査の結果を全国と比較して５ポイント上回ることを目指す。
・校内研究の研究主題を支えるための手だてである①言語活動の充実と②交流活動の充実を、各教科で行うことにより、育てたい資質・能力を効果的に育むことができるようにする。